

# 景気動向調査結果

(平成23年7月分)

長野県商工労働部

この調査は、県内企業 900 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、宿泊業・飲食業 600 社）を対象に、平成 23 年 7 月末の状況（前年同期、3 ヶ月前と比較した状況、3 ヶ月後の状況予想）について、平成 23 年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査からは、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「宿泊業・飲食業」も加えて実施しております。

回答企業数は、579 社（製造業 245 社（うち面接 65 社）建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、宿泊業・飲食業 334 社）で、回答率は 64.3 パーセントでした。

調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

〔 URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/syokou/sinkou/keiki/keikidoukou.htm> 〕

お問い合わせ先：製造業について

長野県商工労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、宿泊業・飲食業について

長野県商工労働部経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 7月の景気動向

## 1 総論

県内企業の業況感は、依然として厳しい状況にあります。サプライチェーン(部品の調達・供給網)の立て直しや消費の緩やかな回復により、持ち直しつつあります。

## 2 製造業

### (1) 概況

県内製造業の業況感は、円高の影響や製品価格下落による収益率の低下がみられるものの、アジアを中心とした海外需要の増加やサプライチェーン(部品の調達・供給網)の立て直しにより、一般機械や自動車部品等で受注、生産に回復がみられることから、4期(1年)ぶりに改善しました。

前年同期(22年7月)と比べたDI(業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を差し引いた値)は20.3で2期連続のマイナスとなりました。

また、3ヶ月前と比べたDIは7.4で、4期(1年)ぶりのプラスとなりました。

なお、3ヶ月後の予想では、円高に伴う景気の先行き不安や海外景気の下振れ懸念などがあるものの、アジアを中心とした海外需要の増加や自動車関連を中心とした国内の供給体制の回復への期待感などを背景に、DIは5.0となりました。

### (主な業種の動き)

ア 電機・電子では、パソコン関連は、国内向けは夏モデル投入期であることから3ヶ月前と比べて受注、生産が増加しているものの、製品の低価格化が依然続いています。プリンターは、ビジネス向け需要がアジア向けを中心に堅調であることや個人消費の持ち直しから、受注、生産が回復しているものの、円高の影響による収益率の低下がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連はサプライチェーンの立て直しなどにより、受注、生産の増加がみられるものの、デジタル家電向けで一服感がみられるほか、円高や製品価格下落に伴う収益率の低下がみられます。

イ 一般機械では、工作機械は電子部品関連で受注、生産の回復が続いているほか、自動車関連で、受注、生産が回復しています。建設機械は、国内向けは、設備投資が回復傾向にあり受注、生産が持ち直しているほか、海外向けは、円高の影響による収益率の低下がみられるものの、需要増加に伴い、受注、生産が回復しています。

ウ 精密では、時計は個人消費の持ち直しなどにより、受注、生産が回復しています。レンズはデジタルカメラ向けやプロジェクター向けで、海外需要の伸び悩みなどから受注、生産が減少しています。計器は、圧力計は半導体関連を中心に受注、生産の回復がみられるものの、LPガスメーターは取替需要期のピークを過ぎたことから生産の減少がみられます。

エ 自動車部品では、サプライチェーンの立て直しや、アジアを中心とした需要増加に伴い、受注、生産の回復がみられます。

オ 食料品では、味噌は需要が減少する夏季を迎え、受注、生産が減少しています。酒類は消費の低迷により受注、生産が引き続き低調に推移しています。飲料は季節的要因により、ペットボトル飲料の受注、生産が増加しています。

## (2) 受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が 27.6%と前回(32.0%)より減少し、「減少」とする企業も 41.6%と前回(44.4%)より減少した結果、その差は前回より拡大しました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が 35.0%と前回(25.8%)より増加し、「減少」とする企業が 24.7%と前回(40.7%)より減少した結果、その差は4期(1年)ぶりにプラスとなりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が 28.6%であるのに対して、「減少」とする企業が 22.8%と、「増加」とする企業の割合が「減少」とする企業の割合を上回っています。

## (3) 生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が 30.4%と前回(31.5%)より減少し、「減少」とする企業も 44.0%と前回(44.6%)よりやや減少した結果、その差は前回よりやや拡大しました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が 37.4%と前回(22.5%)より増加し、「減少」とする企業が 29.2%と前回(44.2%)より減少した結果、その差は4期(1年ぶり)にプラスとなりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が 29.5%であるのに対して、「減少」とする企業が 25.3%と、「増加」とする企業の割合が「減少」とする企業の割合を上回っています。

## (4) 製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が 8.7%と前回(6.9%)より増加し、「安い」とする企業が 34.8%と前回(35.6%)よりやや減少した結果、その差は前回より縮小しました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が 5.0%と前回(6.1%)より減少し、「安い」とする企業も 18.7%と前回(19.6%)よりやや減少した結果、その差は前回とほぼ同じとなりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が 4.2%であるのに対して、「安い」とする企業が 18.4%となっており、「安い」とする企業の割合が「高い」とする企業の割合を上回っています。

## (5) 資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が 16.7%と前回(13.2%)より増加し、「苦しい」とする企業が 22.2%と前回(24.7%)より減少した結果、その差は前回より縮小しました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が 12.9%と前回(6.2%)より大幅に増加し、「苦しい」とする企業が 15.9%と前回(20.7%)より減少した結果、その差は前回より縮小しました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が 9.4%であるのに対して、「苦しい」とする企業が 15.4%と、「苦しい」とする企業の割合が「らく」とする企業の割合を上回っています。

## (6) 収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が 21.9%と前回(24.1%)より減少し、「低下」とする企業も 41.7%と前回(47.0%)より減少した結果、その差は前回より縮小しました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が 21.2%と前回(11.3%)より増加し、「低下」とする企業は 31.5%と前回(38.9%)より減少した結果、その差は前回より縮小しました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が 12.5%であるのに対して、「低下」とする企業が 30.5%と、「低下」とする企業の割合が「上昇」とする企業の割合を上回っています。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコン関連は、国内向けは夏モデル投入期であることから3か月前と比べて受注、生産が増加しているものの、製品の低価格化が依然続いています。プリンターは、ビジネス向け需要がアジア向けを中心に堅調であることや個人消費の持ち直しから、受注、生産が回復しているものの、円高の影響による収益率の低下がみられます。

(半導体関連) 環境対応車向けで、サプライチェーンの立て直しに伴い、受注、生産が回復しています。産業用途では受注、生産の回復が続いているものの、デジタル家電向けの一部で受注、生産の減少がみられるほか、円高や製品価格下落に伴う収益率の低下がみられません。

(プリント基板) 産業用途は持ち直しの動きがみられるものの、アジア向け携帯電話は受注、生産の減少がみられるほか、円高や製品価格下落に伴う収益率の低下がみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けはサプライチェーンの立て直しに伴い、受注、生産の持ち直しがみられます。デジタル家電向けは一服感がみられるほか、円高や製品価格下落による収益率の低下がみられません。

(モーター等) 産業用途は堅調に推移しています。自動車関連向けは、サプライチェーンの立て直しや環境対応車の販売増加に伴い、受注、生産が回復しています。

(その他) カーナビゲーションは、サプライチェーンの立て直しによる自動車の生産の持ち直しに伴い、受注、生産に回復の動きがみられます。電源関連は、一部で受注、生産に持ち直しの動きがみられるものの、依然低調に推移しています。

### 一般機械

(工作機械) 電子部品関連で受注、生産の回復が続いているほか、自動車関連では、設備投資の持ち直しに伴い、受注、生産が回復しています。

(金型) 産業機器向けは、受注、生産の回復に一服感がみられるほか、自動車関連等で、受注、生産が弱含んでいます。

(建設機械) 国内向けは、設備投資が回復傾向にあり受注、生産が持ち直しています。海外向けは、円高の影響による収益率の低下がみられるものの、需要増加に伴い、受注、生産が回復しています。

|             |  |
|-------------|--|
| (農業用機械)     | 農業用機械は、需要期を過ぎたことなどにより生産が減少しています。小型ディーゼルエンジンは海外市場の需要増加などにより受注、生産が回復しています。   |
| (バルブ)       | 民間設備投資の持ち直しがみられることから、受注、生産が回復しつつあります。                                      |
| 精密<br>(時計)  | 腕時計は、個人消費の持ち直しや、海外市場での需要増加に伴い、受注、生産が回復しています。                               |
| (レンズ)       | デジタルカメラやプロジェクター向けは、海外需要の伸び悩みなどから受注、生産が減少しています。工業用レンズ向けは、受注、生産が弱含んでいます。     |
| (計器)        | 圧力計は、半導体関連、産業機械関連を中心に受注、生産の回復がみられます。LPガスマーターは取替需要期のピークを過ぎたことから生産の減少がみられます。 |
| 自動車部品       | サプライチェーンの立て直しや、アジアを中心とした需要増加に伴い、受注、生産の回復がみられます。                            |
| 食料品<br>(味噌) | 需要が減少する夏季を迎え、受注、生産が減少しています。  |
| (酒類)        | 清酒、ワインは消費の低迷により受注、生産が引き続き低調に推移しています。                                       |
| (飲料)        | 季節的要因により、ペットボトル飲料の受注、生産が増加していません。  |
| 繊維・衣服       | ワイシャツは端境期であることから、3か月前と比べ受注、生産が減少しているほか、原材料費高騰による収益率の低下もみられません。             |
| 紙・パルプ       | ダンボールは、季節的要因により青果物向けの、受注、生産が増加しています。                                       |
| 印刷          | 印刷・製本の需要が引き続き低迷しており、受注、生産が低調に推移しています。                                      |
| その他         | 工業用プラスチックは、OA機器関連や環境配慮型製品などで、受注、生産の回復がみられます。                               |

### 3 建設業

東日本大震災の影響によりこれまで凍結されていた設備投資が回復し、企業の一部には関連の建設受注の増加がみられます。建設資材は東日本大震災直後の供給難から回復しつつあります。

足元の円高や欧米景気の減速懸念を受けて、先行きは慎重な見通しとなっています。

### 4 情報サービス業

ソフトウェア関連では、クラウドを利用した業務用システムの受注が堅調であることに加え、東日本大震災後、携帯電話やパソコンを利用した緊急連絡網システムの受注増加がみられます。

また、技術サポート面でのニーズの高まりを受けて、新規ホームページ作成や更改等のほか、製品設計ソフトのインストールなどの受注にも増加がみられます。

### 5 小売業・卸売業

卸売業では、節電等の影響で一部商品の入荷に遅れがみられるほか、物流コストの上昇などもみられますが、消費の緩やかな回復を受け、売り上げは例年並みで推移しています。

小売業では、東日本大震災後の買いだめに伴う特需は落ち着きましたが、売り上げは例年並みで推移しています。放射能などによる風評被害が心配されますが、農作物等食料品の販売は概ね例年並みで推移しています。

### 6 宿泊業・飲食業

飲食業では東日本大震災後の消費者の慎重志向が薄らいできていることや、3ヶ月前と比べ客足減少に歯止めがかかりつつあることを受けて、売上増加がみられます。

宿泊業では東日本大震災後の影響から旅行需要が持ち直しており、宿泊予約の回復が続き、夏の観光シーズンの予約状況は前年をやや上回る水準にまで回復しています。国内の観光客に加え、一部には海外からの観光客にも回復がみられます。節電が意識される中で、涼しい信州が連想され、家族連れで長野県を観光する宿泊者の増加がみられます。

平成23年度の調査から、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「宿泊業・飲食業」を加えて実施しています。

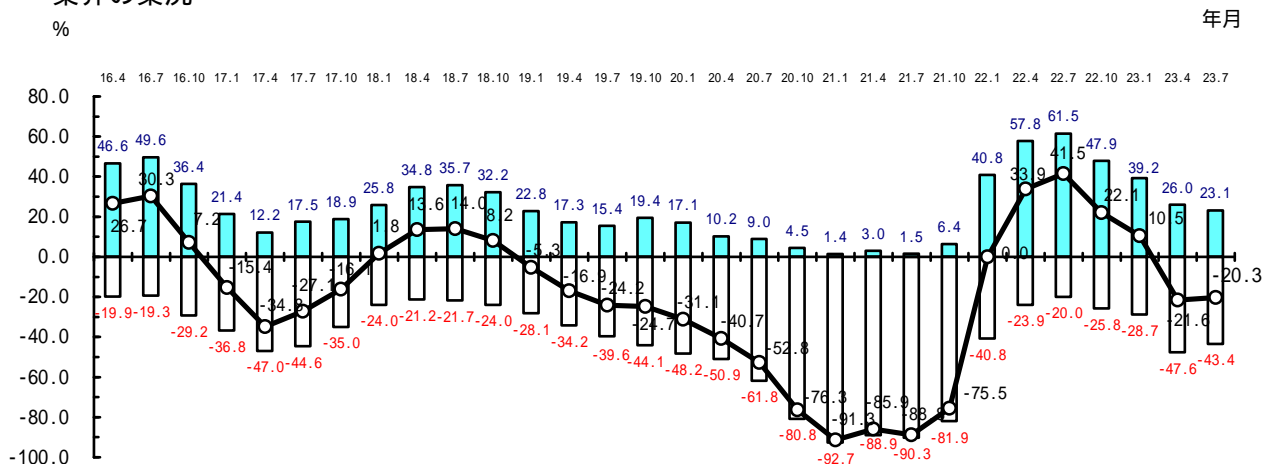
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

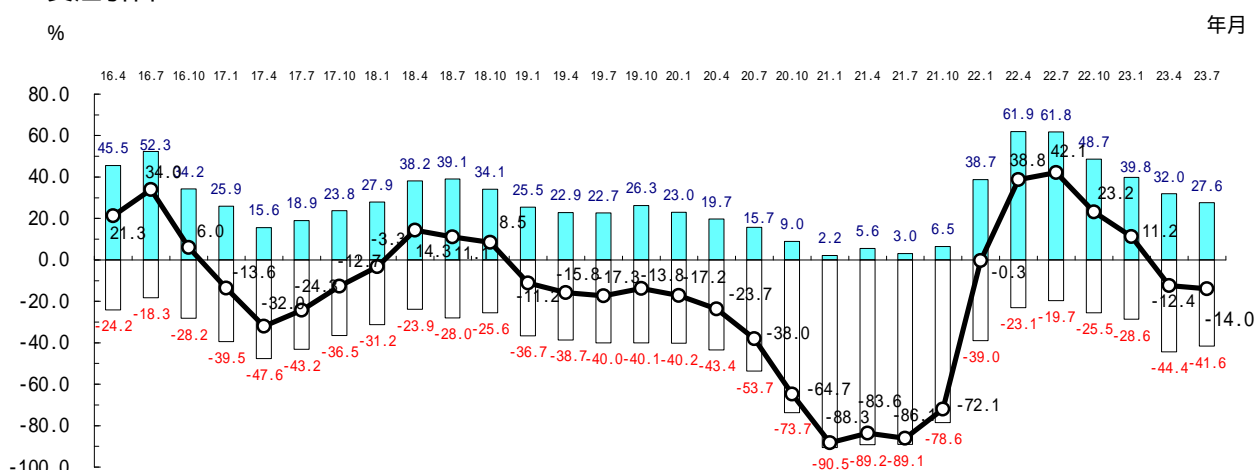
## 1 製造業

### (1) 全業種 前年同期に比べて

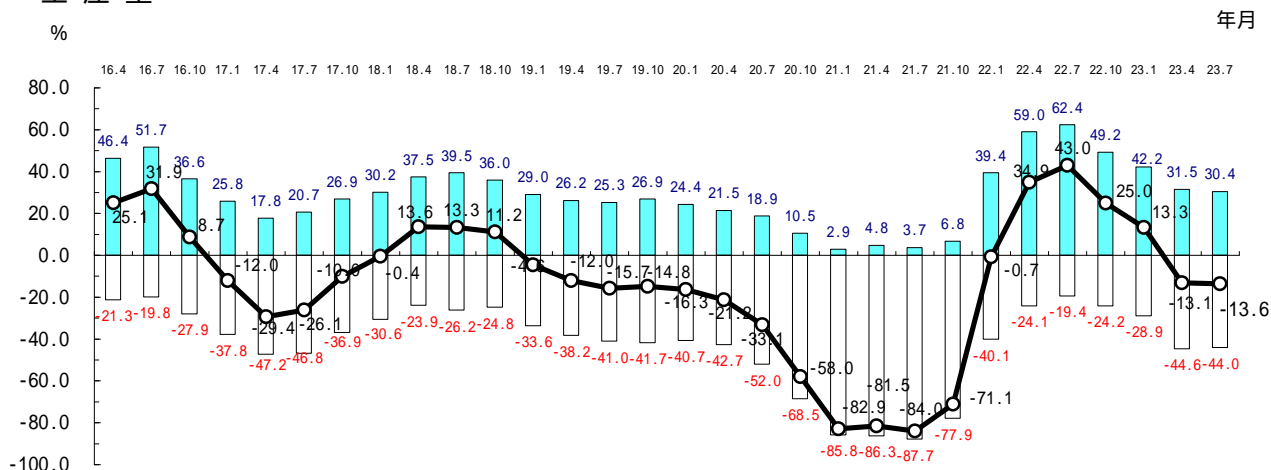
#### 業界の業況



#### 受注引合

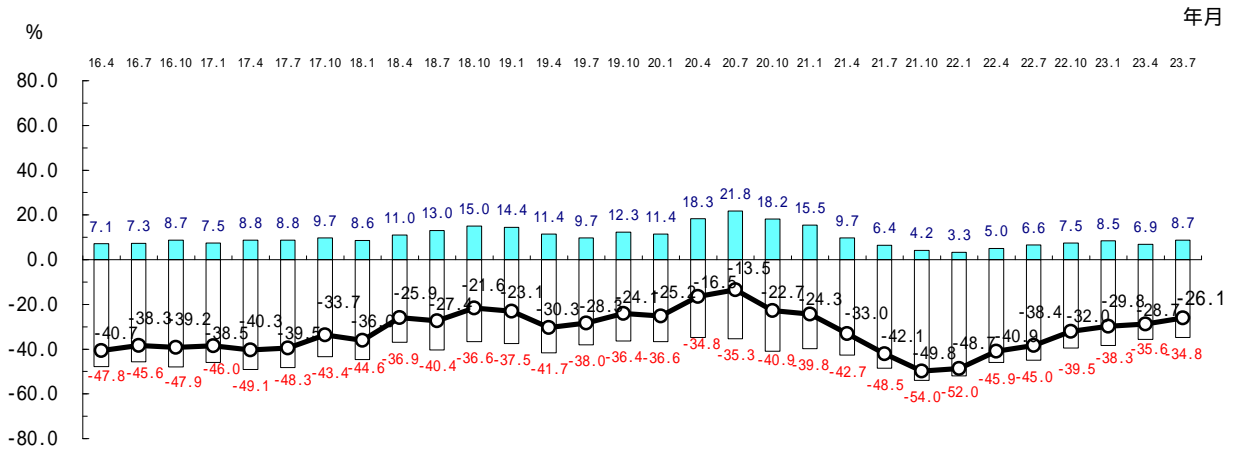


#### 生産量

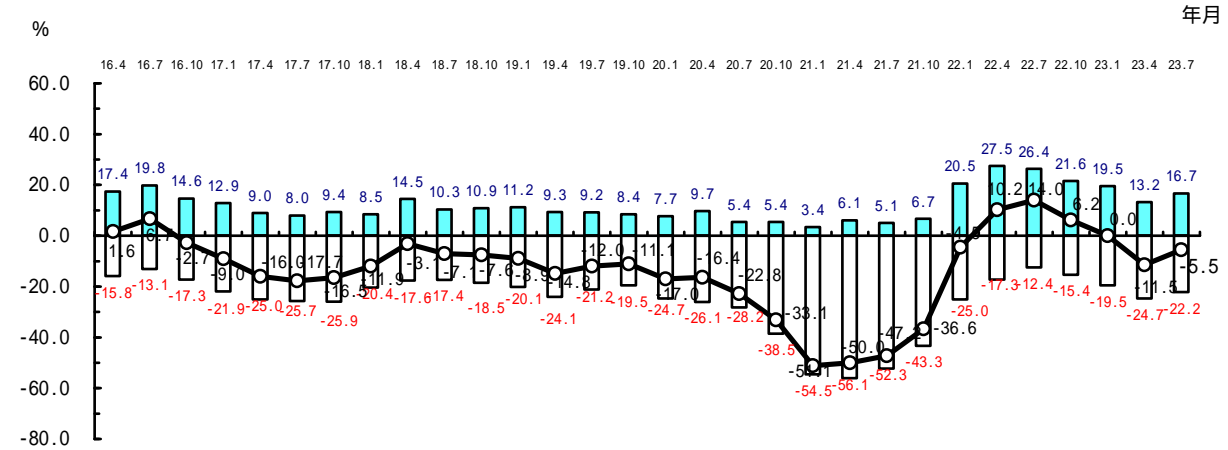




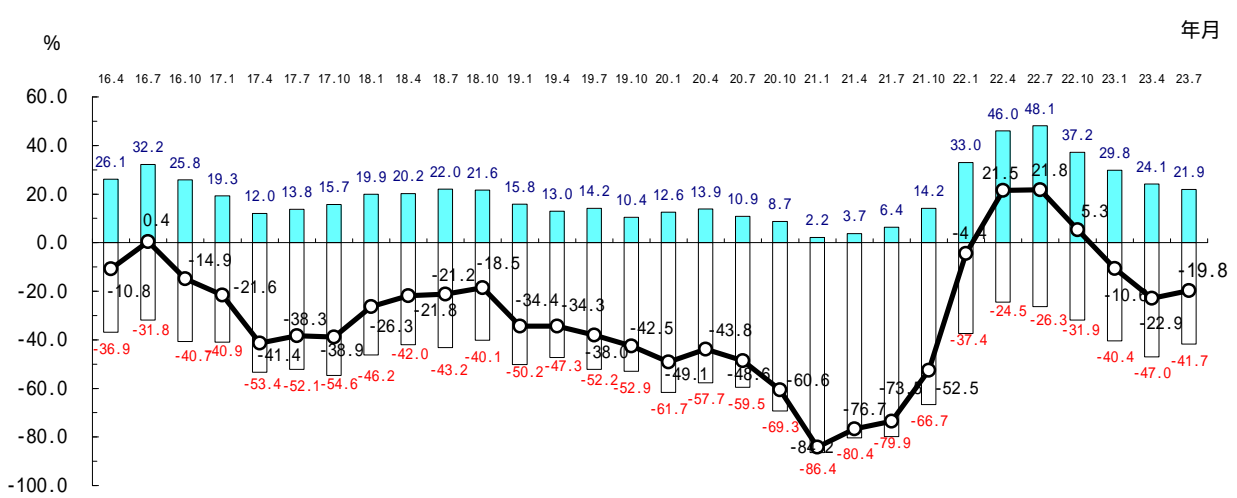
### 製品販売価格



### 資金繰り

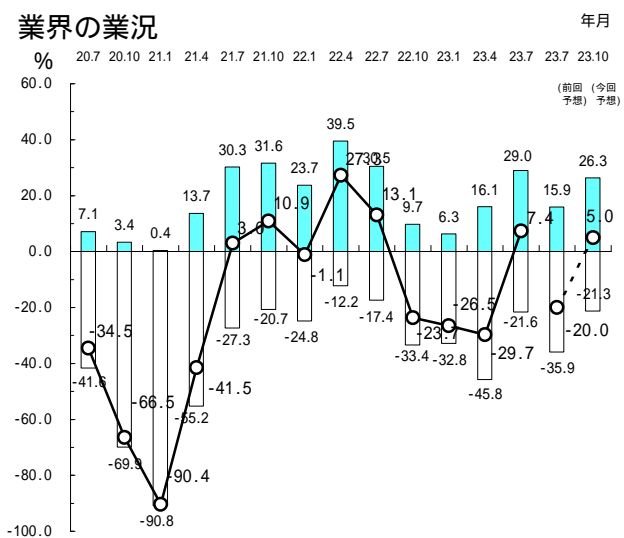


### 収益率

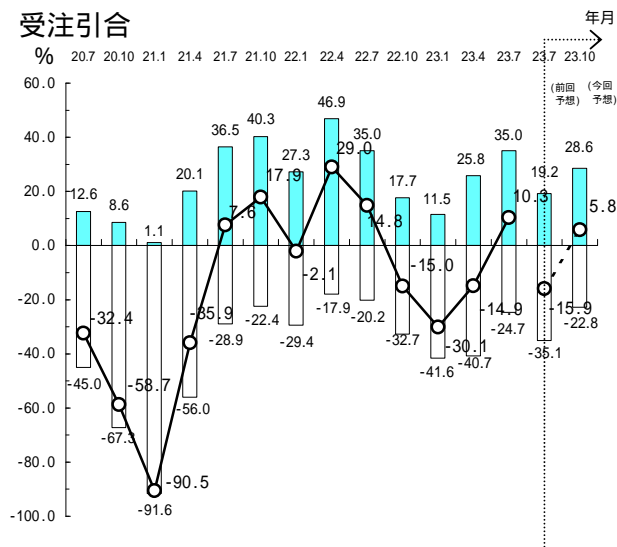


(2) 全業種 3ヶ月前に比べて及び3ヶ月後の予想

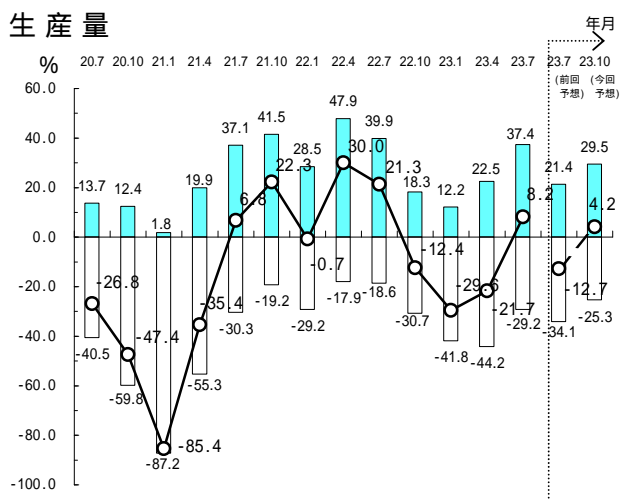
業界の業況



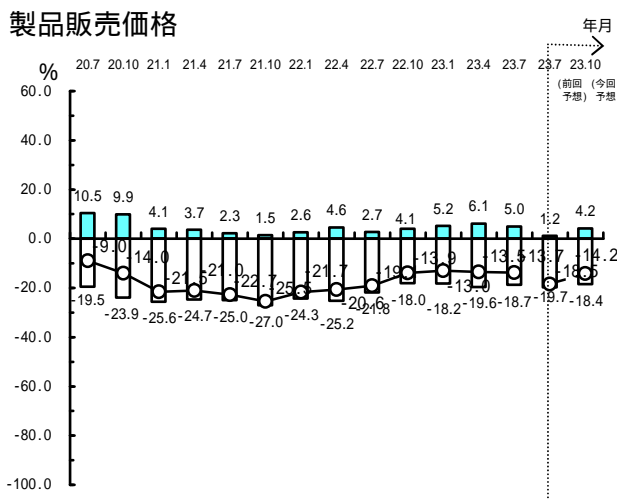
受注引合



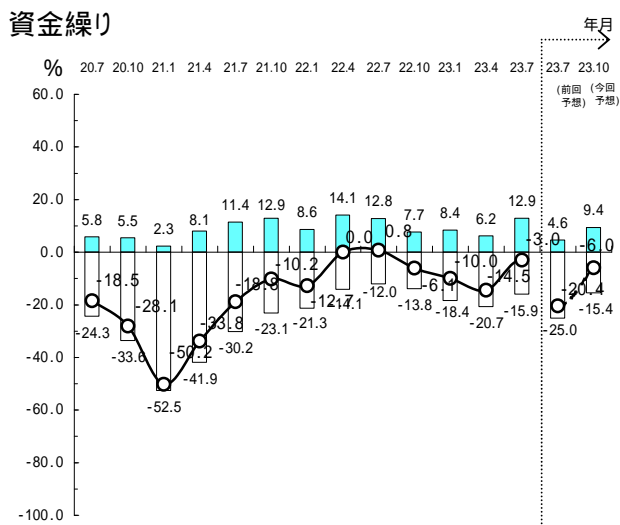
生産量



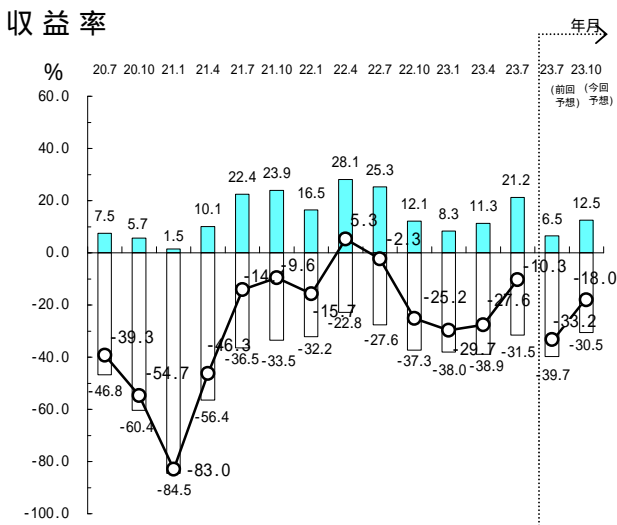
製品販売価格



資金繰り



収益率



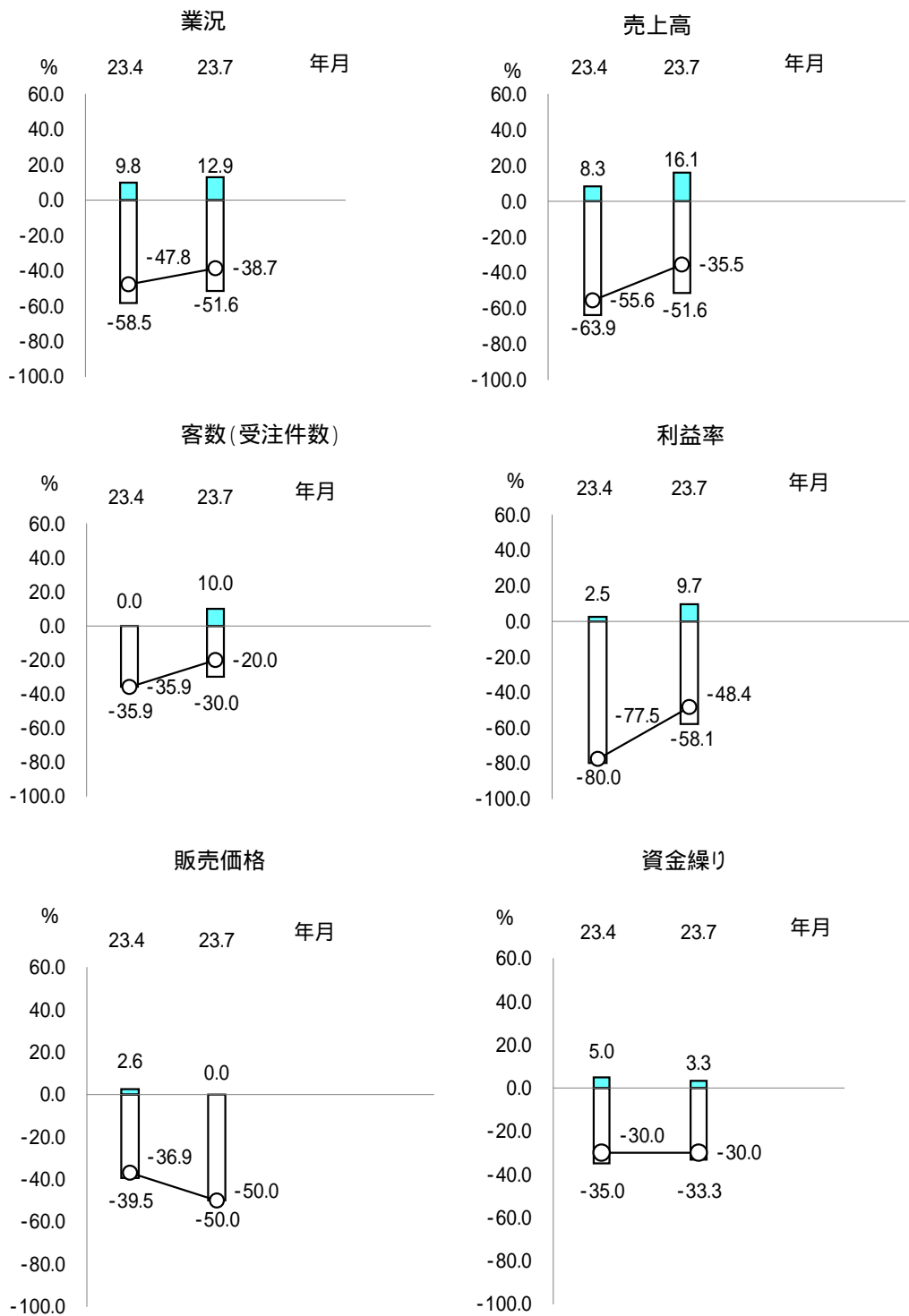
## 2 建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、宿泊業・飲食業

平成23年度の調査から、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「宿泊業・飲食業」を加えて実施しました。

(注) 棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
点(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

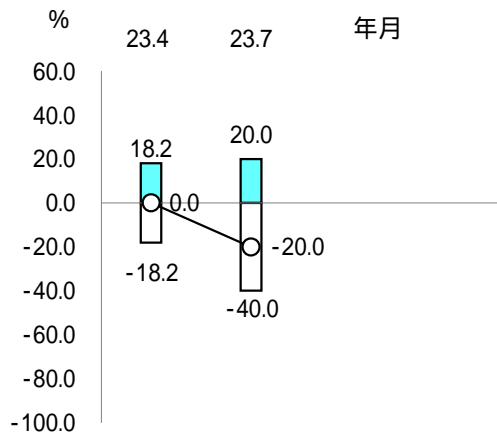
### (1) 前年同期に比べて

#### ア 建設業

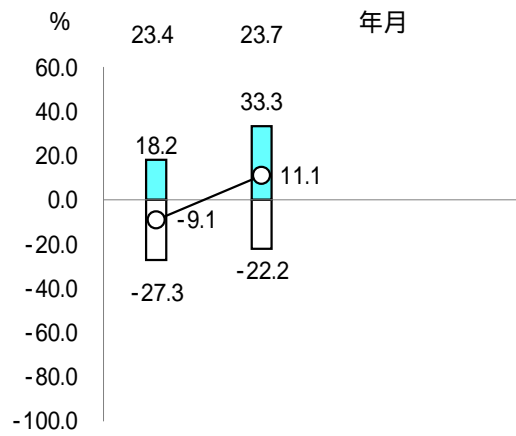


イ 情報サービス業

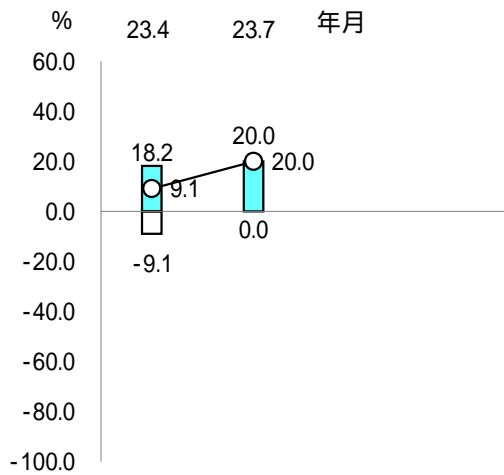
業界の業況



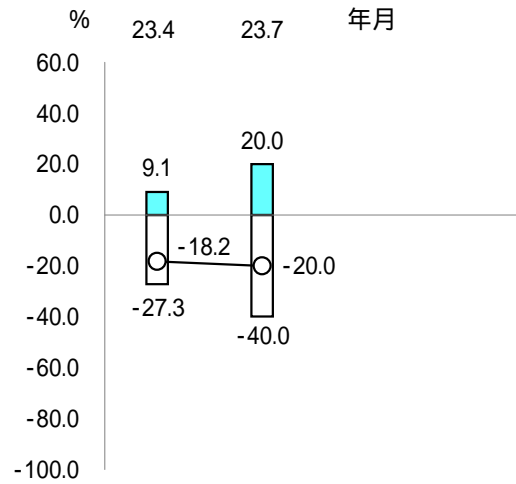
売上高



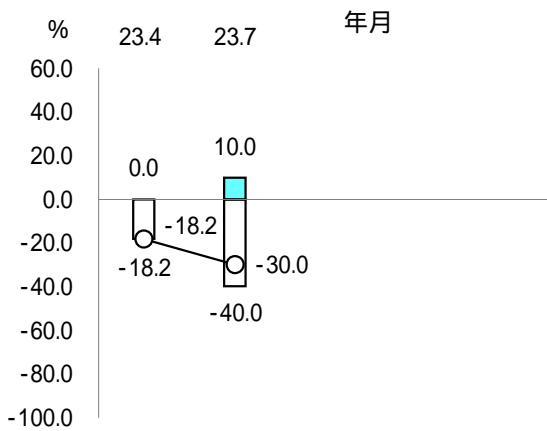
客数



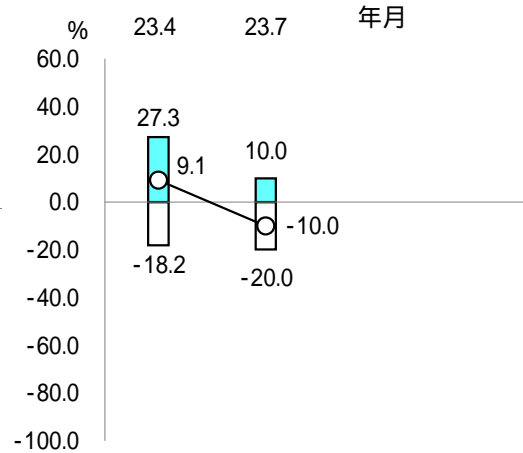
利益率



販売価格

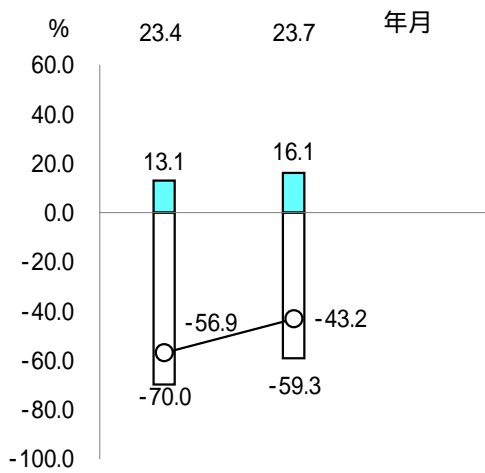


資金繰り

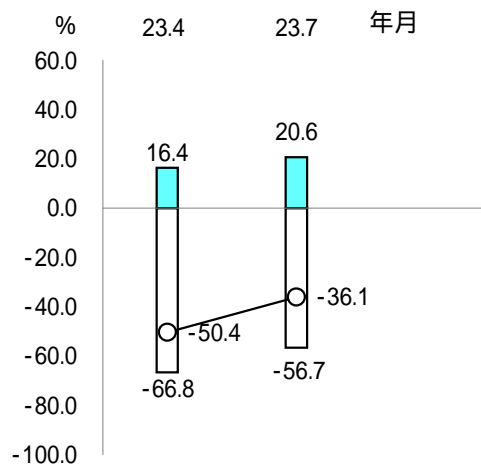


ウ 小売業・卸売業

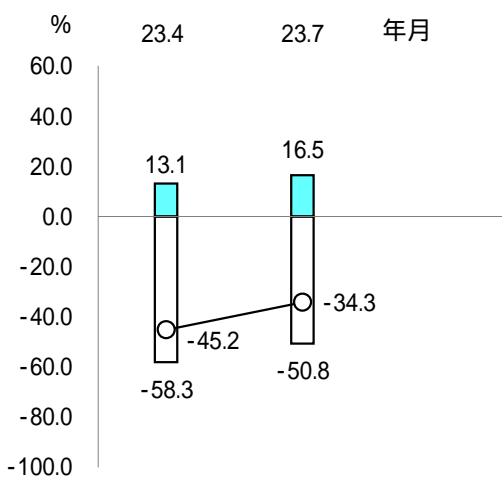
業界の業況



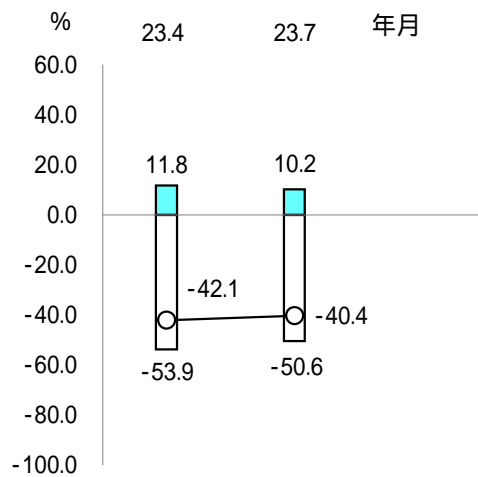
売上高



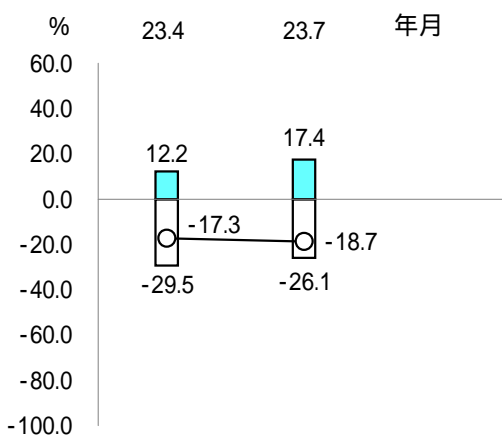
客数



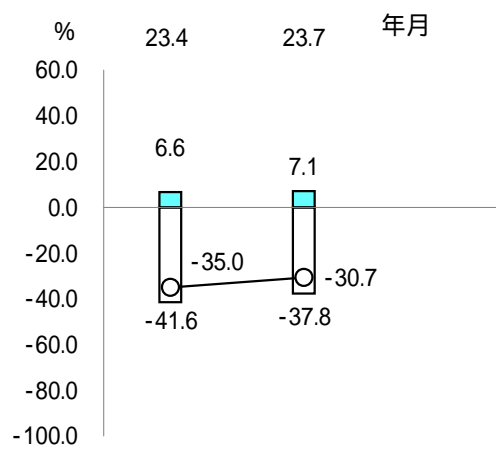
利益率



販売価格

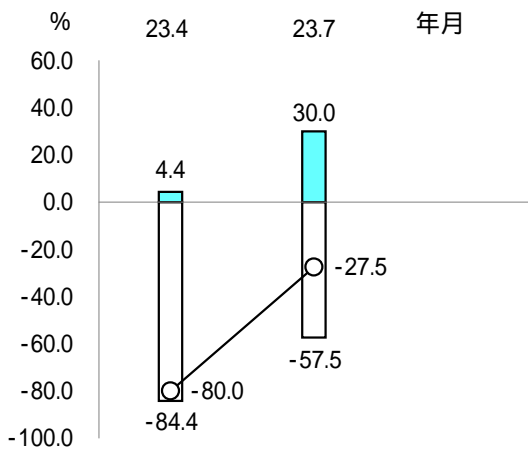


資金繰り

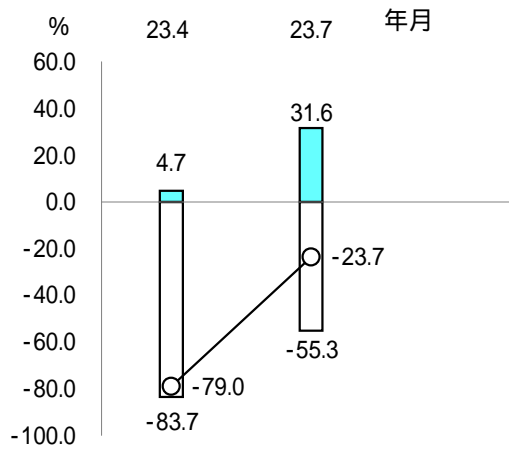


工 宿泊業・飲食業

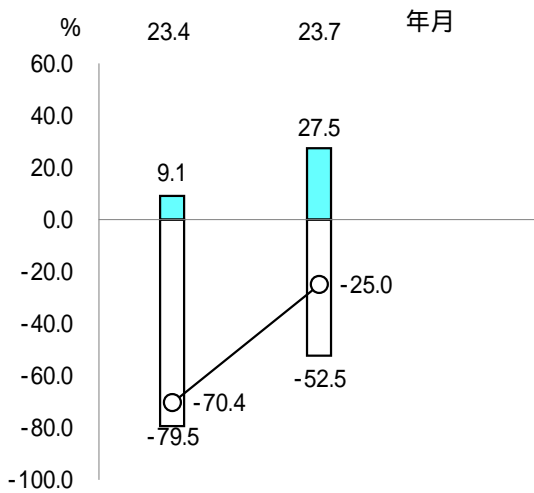
業界の業況



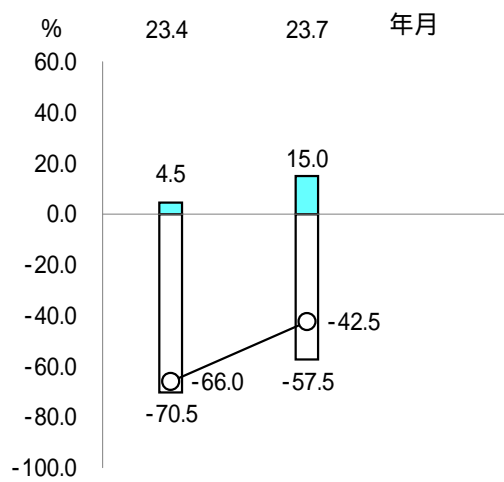
売上高



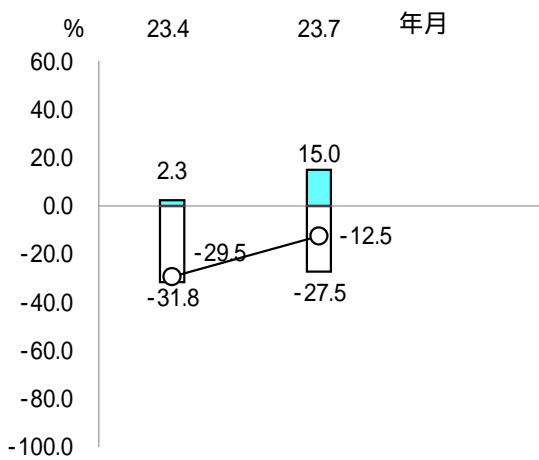
客数



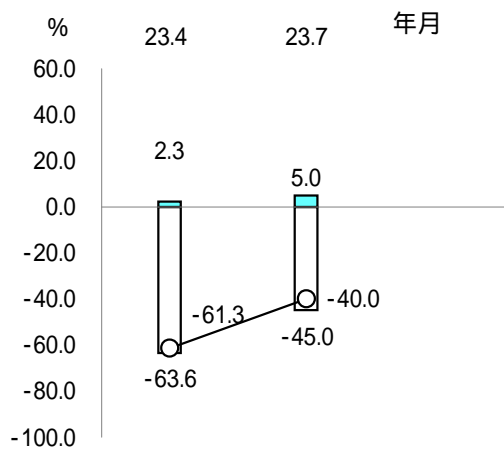
利益率



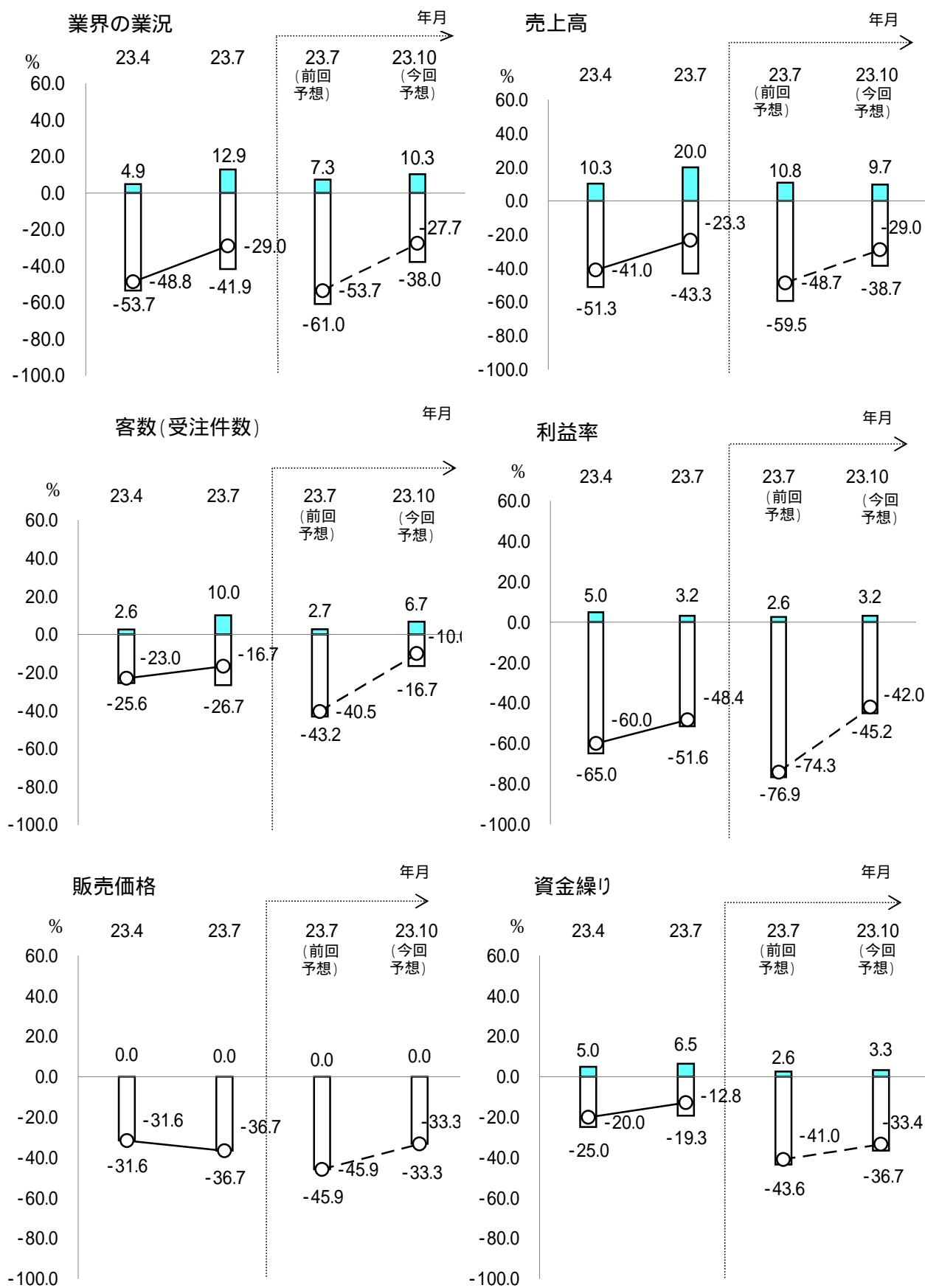
販売価格



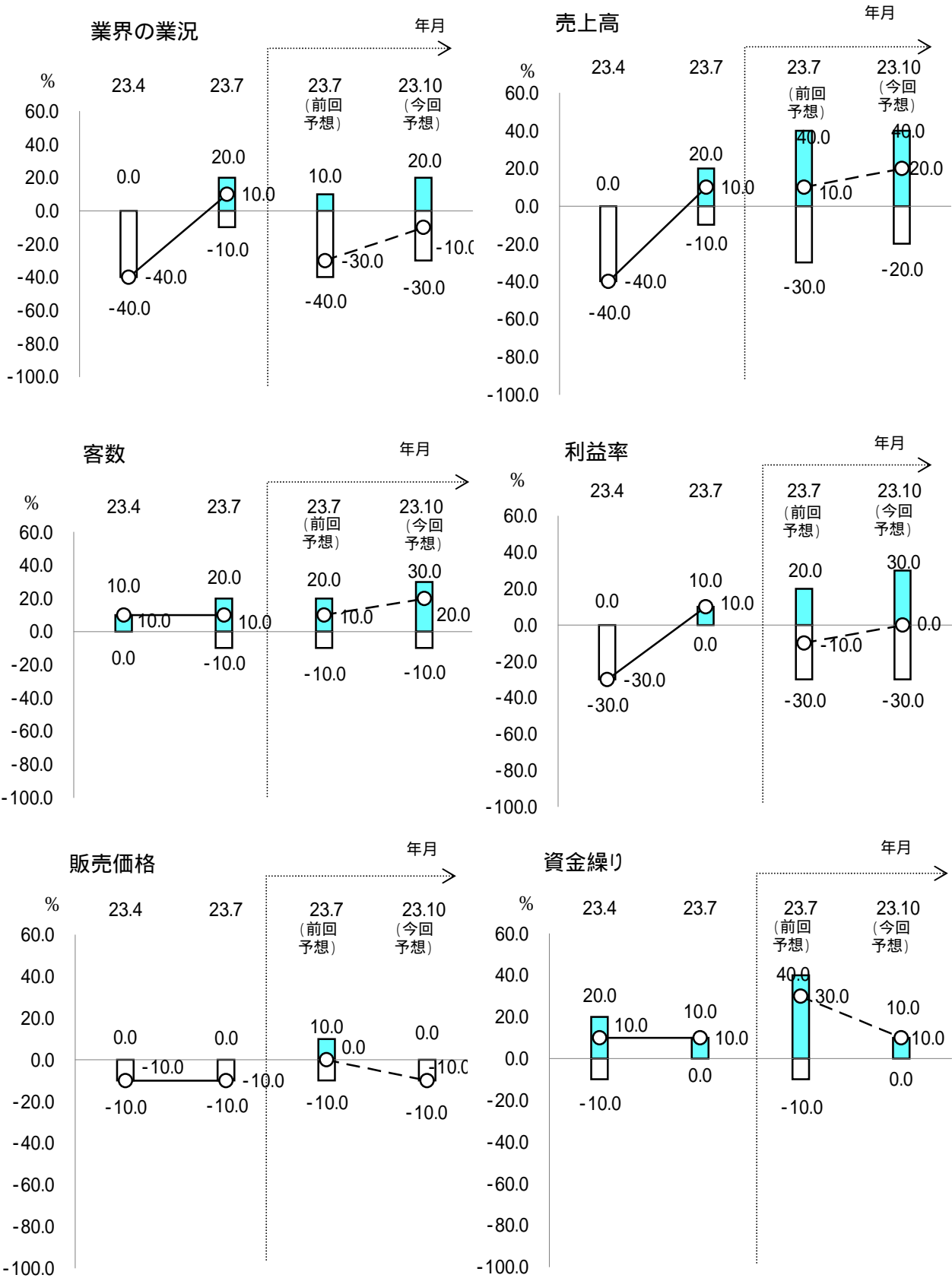
資金繰り



(2) 3ヶ月前に比べて及び3ヶ月後の予想  
ア 建設業

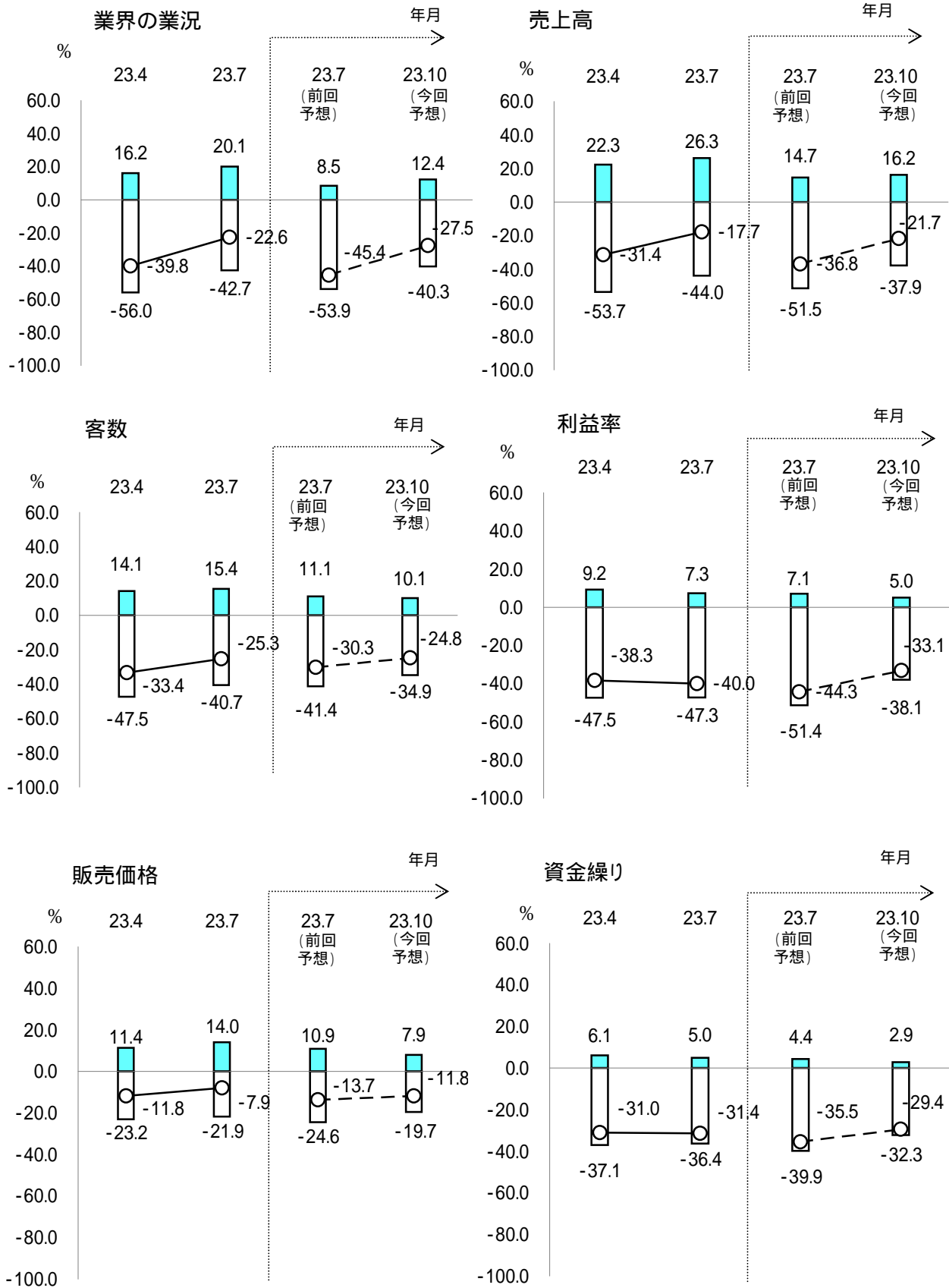


イ 情報サービス業





ウ 小売業・卸売業



工 宿泊業・飲食業

